

生命・健康コース(千住) 2017年2月14日(火) 千住キャンパス本館1508教室

時刻	プログラム	
	研究室	タイトル
10:00-10:05	開会の辞 山口 学科長	
10:05-11:39	小島研究室	魚アレルゲン(パルブアルブミン)の 効率的定量法による魚種別含有量の測定
		地産地消に向けた機能性素材の抗酸化活性の検討
		杜仲葉・桑葉の化粧品素材の可能性の検討
		インターネットから購入した健康食品の健康被害の可能性について
		二枚貝のノロウイルスのF-RNAファージを用いた検出法の検討
		フラボノイドの抗アレルギー作用について(調査研究)
11:39-11:46	入れ替え休憩	
11:46-12:35	山口研究室	HIV逆転写酵素活性の定量的検出とヌクレオチドアナログによる阻害
		ヌクレオチドアナログの合成とテロメラーゼ活性への影響
		ヒト培養がん細胞 MKN45のタンパク質発現に及ぼすテロメラーゼ阻害剤処理の影響
12:35-12:42	前田研究室	新たな創傷治癒促進療法の開発(外研:東海大学医学部)
-13:40	昼休み	
13:40-14:57	松岡研究室	インペルターゼによるショ糖加水分解反応速度の生産物阻害の定式化
		酵素法による竹からのグルコース生産
		グルコースを炭素源とする緑膿菌によるラムノリピド生産
		銀イオンによる殺菌効果の定量評価
		腸内細菌と肥満について(調査研究)
		放射能除染における光合成細菌の利用について(調査研究)
14:57-15:04	入れ替え休憩	
15:04-16:21	東研究室	ニンジン不定胚における オーキシン極性輸送阻害剤の効果
		シロイヌナズナ不定胚形成における活性酸素種の関与について ~パラコート処理の不定胚形成への影響~
		植物のプログラム細胞死における <i>NtILPs</i> の機能について
		植物細胞死制御因子 <i>NtILP1</i> の機能解析について
		シロイヌナズナ発芽調節機構における <i>AtILP1</i> および <i>AtILP2</i> の役割について
		新しい植物バイオテクノロジー技術を利用した植物生産技術について(課題研究)
16:21-16:25	閉会の辞 山口 学科長	